

# 平成24年度「ビジットおきなわ計画」の概要

## 世界水準の観光リゾート地の形成に向けて

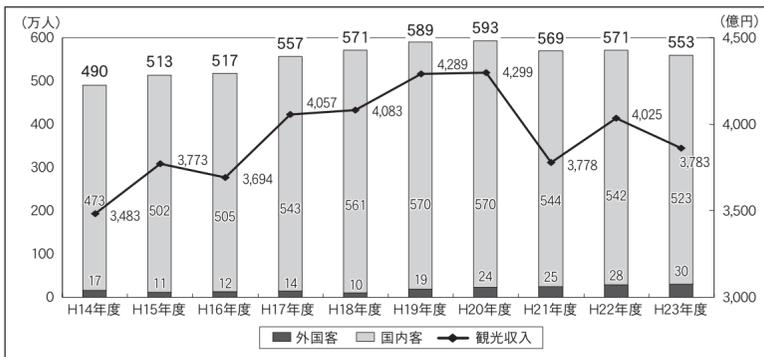
調査データ

沖縄県は将来の観光客1000万人を目指し、平成19年度から毎年度ごとに県の誘客行動計画「ビジットおきなわ計画」を作成。1年間で特に重点的に誘客に取り組むマーケットや目標を定め、それを達成するための施策展開の方針などを明らかにしている。

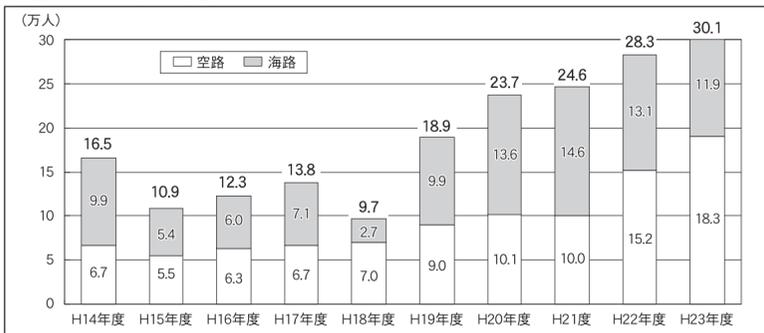
前年度の入域観光客数などを速報値としてとりまとめ、年度初頭には発表するという画期的なアクションプランとなっている。年度ごとの重点施策の早期発表と観光統計の速報値は観光関係者にとって有効な情報として活用されている。

### 沖縄観光の現況

入域観光客数・観光収入の推移

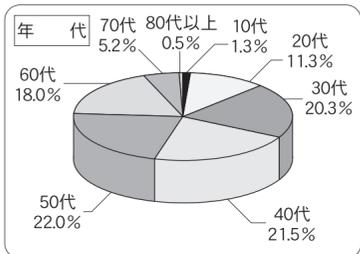


外国人観光客数の推移

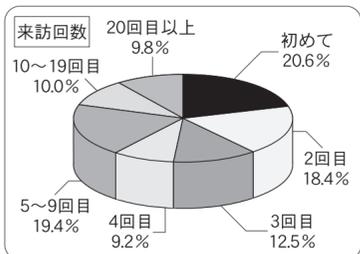


### アンケート回答者から見た観光客の属性

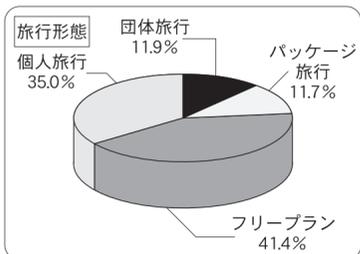
国内客(修学旅行生を除く)



「30代」から「50代」にかけてはそれぞれ約2割を占めている。

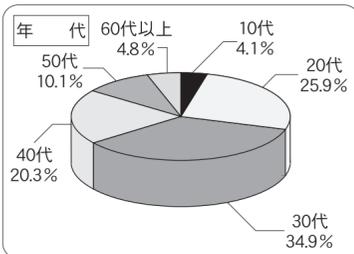


「初めて」が20.6%、リピーター比率は79.4%となっている。

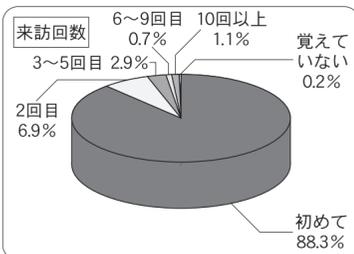


「フリープラン」が最も多く、4割を占めている。

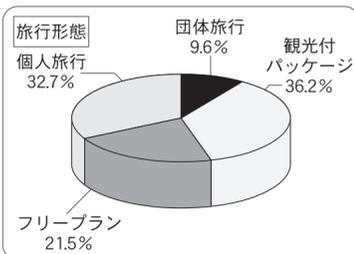
外国人客



「30代」が最も多く、34.9%となっている。



「初めて」が88.3%、リピーター比率は11.7%となっている。



「観光付パッケージ」が最も多く、36.2%となっている。

注) 4捨5入のため、合計が一致しない場合がある。

### 平成24年度の数値目標と誘客戦略

#### ■数値目標

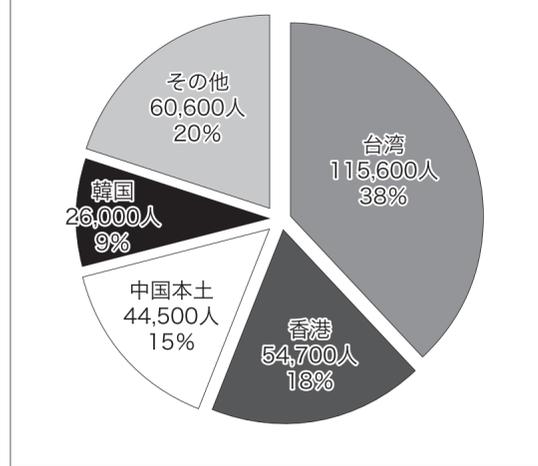
項目	平成24年度目標	(対前年度)	平成23年度
観光収入	4,700億円	(24.2%)	3,783億円
観光客1人当たりの県内消費額	75,000円	(9.6%)	68,427円
平均滞在日数	3.95日	(0.16日)	3.79日
入泊数	1,840万人泊	(18.6%)	1,552万人泊
入域観光客数	620万人	(12.1%)	553万人
(うち外国人観光客数)	45万人	(50.0%)	30万人

#### ■誘客戦略

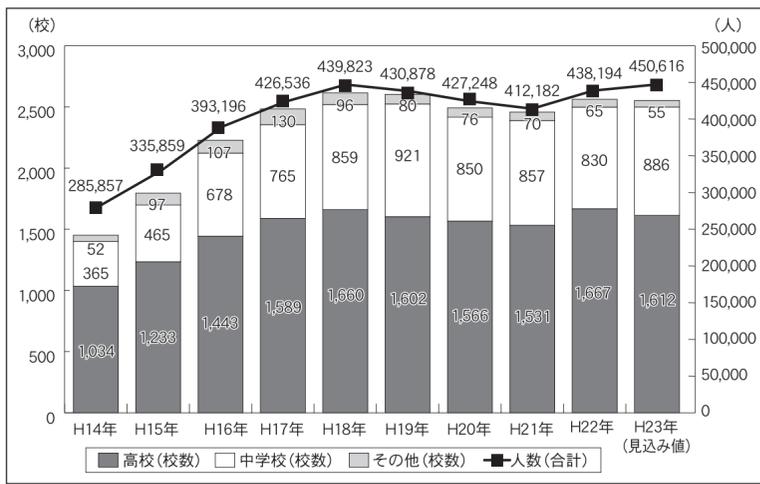
##### 平成24年度の市場環境と誘客戦略の概要

- 平成23年度後半からは、中国を始めとするアジアからの観光客が大幅に増加するなど、東日本大震災の影響を脱し明るい兆しが出始めているが、円高や世界経済の減速懸念など、外部環境は不確実性が高い状況となっている。
- 平成24年度は、市場特性に対応した誘客活動を展開し、海外における認知度向上や、国内における安定的な誘客を図っていく。
- また、離島観光の推進や、沖縄の文化や芸能、スポーツなどを活用した付加価値の高い旅行メニューを推進するとともに、観光客受入体制の整備を強化していく。
- これらの取り組みを促進するため、県庁各部局間や市町村、(財)沖縄観光コンベンションビューロー、地域の観光協会等との連携を図り、推進体制の充実強化を図っていく。
- さらに、ビザの緩和や着陸料の低減等、制度の改善に関する国への要望等も引き続き実施し、旅行しやすい環境作りに取り組む。

### 平成23年度の外国人観光客の国籍別構成比



### 修学旅行の動向



### 平成24年度の観光関連予算

	平成23年度		平成24年度	
	当初予算額	対前年度比	当初予算額	対前年度比
沖縄県全体の当初予算額	608,189,000		680,673,000	111.9%
観光関連予算(合計)	2,207,545		9,270,621	420.0%
①観光客の誘致促進を図るために必要な経費	887,991	766.0%	6,802,256	
②観光統計・調査、計画策定、関係機関との連絡調整等に要する経費	180,175	184.3%	332,114	
③観光客の受入体制の整備等に要する経費	384,520	283.2%	1,088,989	
④沖縄コンベンションセンター・万国津梁館の管理運営等及び各種コンベンション誘致・支援に要する経費	302,585	174.0%	526,483	
⑤その他(沖縄コンベンションビューロー運営経費等)	452,274	115.1%	520,779	

※当初予算額であり、補正予算は含まない。